

# 一般質問

## 明政クラブ

### 災害時における工事発注の在り方

**問** 災害復旧を迅速に進めるために、災害時の工事や修繕の発注の在り方を見直す考えはないか。

**答** 本市の入札制度については、建設工事も含め、原則として一定の入札参加資格要件を満たした者が参加できる制限付一般競争入札を実施している。

入札において受注の偏りを防ぐため、同日に執行した案件の落札は1業者1件とする同日落札制限などを設けているが、市民の安全を守り一日も早く平常の生活を取り戻すために、早期着工が可能となるよう、災害復旧工事に関しては、落札制限を除外することは有効な手段と考えている。

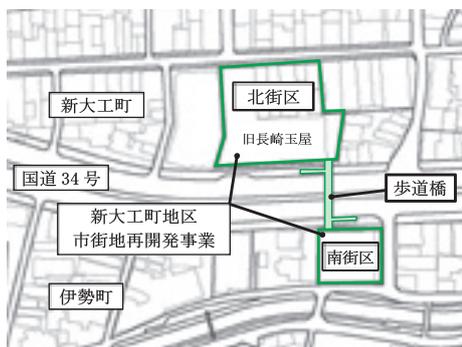
また、災害が発生した場合などに迅速に対応していただける、地元への貢献意欲を持つ建設業者に事前に登録などをしていただき、災害に対応した事業者に対しては、入札において年間落札回数の制限を緩和するなどの制度を設け、災害時により早急な対応ができるような仕組みづくりにつなげていきたい。

### 新大工町電停側の歩道橋の建設

**問** 新大工町電停の側に横断歩道が設置され、歩道橋が撤去された経緯がある。今後、なぜ市が費用負担して新たな歩道橋を造らなければならないのか。

**答** 新大工町地区市街地再開発事業は、北街区と南街区の施設が相互に機能を補完し、一体となることで1つの再開発事業として認可を受けており、両街区の物理的な接続が必要なことから、歩道橋は都市計画における主要な公共施設として位置づけている。様々な経緯を経た中で、国との協議も踏まえながら進めてきており、再開発ビルを玄関口として新大工町商店街への回遊を促すなど、歩行者動線の強化や円滑で安全な横断の確保が必要であることから、歩道橋は市が造ることとした。

今後も官民が協力し、新大工町地区の魅力向上につながる整備を進めたい。



▲建設予定の歩道橋の位置図

## 市民クラブ

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のための保育所等への支援

**問** 保育所等へどのような支援を行っているのか。

**答** 国からの要請に基づきマスクの配付や消毒液の優先発注の調整を行うとともに、国の補正予算を活用して、感染拡大防止に必要な消耗品や備品等の購入費用、日常的な消毒等に要したかかり増し経費に対し、年間上限50万円の補助を行っている。さらに、令和2年度分については、施設ごとの補助に加え、一時預かりや延長保育等の事業ごとに上限50万円の補助を行っている。そのほか、各施設では判断が困難な、感染者が発生した場合の対応について市独自の対応方針を示すなど、積極的な支援に努めている。



今後、感染状況や国の動向等を注視するとともに、施設のニーズをしつかり踏まえながら、時機を逸することなく積極的な支援を行っていく。

### 核兵器禁止条約の署名・批准の要請

**問** 市長は11月に広島市長とともに上京し、政府や政党に要請したとのことだが、成果や反応について伺いたい。

**答** 11月20日、外務省を訪問し、条約への署名・批准や締約国会議へのオブザーバー参加を求めるとともに、主要な政党の代表者等に対し、国会の場で活発で建設的な議論を行っていたかどうか要請書を手渡した。政府からは従来どおり慎重な姿勢が示されたが、自由民主党から「まずは党内の外交部会で議論を行うよう提案したい」という回答を得るなど、各政党からは前向きな見解が示され、要請後の衆議院予算委員会や参議院本会議において、相次いで条約に関する質問が行われている。

今後とも、条約批准国や国際機関、NGOなどと連携しながら、諦めることなく、粘り強く取り組んでいく。



▲鷲尾外務副大臣に要請書を手渡す 田上市長と松井広島市長